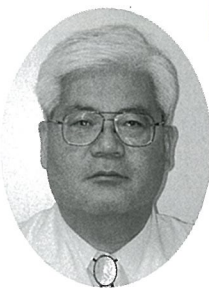


# 院長就任あいさつ

東陽病院 院長 伊藤 文憲



横芝町の皆さん今日は。4月1日より組合立東陽病院の院長に就任いたしました。先代の大原院長の後任として一杯頑張る所存であります。

さて、最近では医療を取り巻く環境はあまり芳しくありません。医療を提供する側には、慢性的な医師の不足と構造的な赤字体質があり、医療を受ける側としては社会保険の3割負担、高齢者の1割自己負担の導入による医療費の増加などがあります。

当院は横芝町・光町・野栄町の構成3町による組合立病院であります。来院される患者さんも9割が構成3町の住民です。この地域の医療を担うべく制定された当院としては日常の一般外来、夜間の救急外来を行い、休日診療は八

匝医師会と連携して行っています。入院に関しては3年前より急性期の一般病床70床と、療養病床として医療療養20床、介護療養10床の構成になっています。

以前は入院患者の減少によりベッド稼働率が60%以下のことがあり、多額の赤字を抱えていました。1年半前に副院長として赴任してから入院患者の増加を計画してきまし

た。外来救急を積極的に診察することは当然として、旭中央病院や八日市場市民病院に入院している構成3町の患者さんを積極的に当院に転院していただき、家族の方の便宜を図り、慣れ親しんだ環境に患者さんを迎えることに努めました。現在ではベッド稼働率も70%を超えて赤字も徐々に縮小傾向にあります。さらに、最近の高齢化に伴う寝たきり患者さんや慢性疾患で長期に入院の必要な患者さんの増加がみられますので、8月までの病床区分の明確化に伴

せて、療養病床の増加を計画しており、より地域住民のニーズに合った病棟構成が出来るものと思っています。医療の進歩には、めざましいものがあります。急性期の疾患に関しては適切な診断と治療が要求されます。当院でも内科・外科・整形外科・産婦人科の常勤医が日々外来・入院患者さんに対して最先端の知識を持って治療に当たっています。また、町と連携して地域住民の健康増進・疾病の予防・早期発見のための活動も行っています。

高齢化社会の到来により高血圧や糖尿病に代表される生活習慣病が増加しています。その結果、脳梗塞や心筋梗塞を合併して長期の療養が必要となるケースが増えていきます。当院では、地域開業の先生方及び町や保健所等の行政と連携して適切な医療を提供します。患者さんや家族が希望すれば在宅のままで訪問診療を行い、長期の入院に対応して医療と介護の療養病床があります。

「病める者に優しい医療を提供する事」を当院の理念として、地域医療活動の中心を担う使命感に燃えています。

「病める者に優しい医療を提供する事」を当院の理念として、地域医療活動の中心を担う使命感に燃えています。

東陽病院科別外来日程表

科	午前							午後		
	受付 8:15~11:30 (土曜日は11:00まで)							受付 1:00~3:00		
曜日	診療開始 9:00~		10:00~					診療開始 1:30~		
	内科	外科	産婦人科	整形外科	泌尿器科	脳神経外科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	
月	呼吸器 志村	伊藤 院長	里見	伊地知	田内			溝田	武宮	
火	森居	鈴木	前田	伊地知	田内	佐藤	大屋			
水	宮崎	伊藤 院長	豊田	伊地知	田内		金親	佐藤	武宮	
木	循環器 名嘉山	伊藤 院長	前田	伊地知	田内	市川				
金	森居	鈴木	佐野	伊地知	田内		小泉	末廣	武宮	
土	宮崎		交替制	伊地知						
診療場所	1番 1階	2番 1階	3番 1階	5番 1階	7番 1階	3番 1階	3番 1階	8番 1階	6番 1階	

休診日 日曜、祝祭日、第2・4土曜日